

令和5年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立五箇中学校長

令和5年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語、数学、英語の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	69.8%					○
数学	51.0%					○
英語	45.6%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	67.5%					○
情報の扱い方に関する事項	63.4%					○
我が国の言語文化に関する事項	74.7%					○
話すこと・聞くこと	82.2%	○				
書くこと	63.2%					○
読むこと	63.7%					○

【考 察】

- ほとんどの領域において、全国平均を上回る高い正答率でした。特に、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域では全国平均を大きく上回る結果となりました。授業で漢字テストや小テスト等を実施し、練習を積み重ねた成果と考えられます。
- 「話すこと・聞くこと」の領域における、「相手の話を受けて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したものとして適切なものを選択する」問題の正答率が全国平均を下回りました。今後、話の内容を正しくとらえることができるよう、授業の中で定着を図っていきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	63.0%					○
図形	33.2%			○		
関数	51.2%					○
データの活用	48.5%					○

【考 察】

- ほとんどの領域において、全国平均を上回る高い正答率でした。特に、「数と式」領域では、全国平均を大きく上回る結果となりました。しかし、「図形」領域は、全国平均とほぼ同じ正答率となりました。今後の「図形」領域の学習では、既習事項の復習を加えながら指導していきます。
- 「筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する」問題の正答率が低い結果となりました。今後は、問題解決型の学習を授業の中に意図的に取り入れ、的確に説明できるように指導していきます。

【英語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
聞くこと	58.4%					○
読むこと	51.2%	○				
書くこと	23.4%	○				

【考 察】

- 「聞くこと」の領域は、全国平均を上回る結果となりました。特に、情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる問題では、概ね全国平均を上回りました。話の要点を聞き取る学習を積み重ねてきた成果だと考えられます。
- 「読むこと」と「書くこと」の領域で、全国平均を下回りました。特に、まとまりのある文章を書く問題に課題が見られました。今後、授業で生徒自身の考えを書かせたり、既習事項を用いた英作文を書かせたりして、正しい英文を書く学習を積み重ねることで、「書くこと」の力を伸ばせるようにしていきます。

令和5年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立五箇中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		よく している	ときどき している	あまり していない	全く していない
中	全 国	15.3	39.7	31.9	12.9
3	五箇中	31.3	43.8	12.5	12.5

(単位 %)

【考 察】

- 多くの生徒が、家庭で計画を立てて勉強に取り組んでいる状況です。これは、一人ひとりに自分の目標に向かい、見通しをもって学習に取り組むことの大切さを伝え続けてきた成果であると考えられます。
- 生徒がより主体的に学習に取り組めるように、生徒と目標を共有し、一人ひとりに応じた課題を提示するなど、個に寄り添った支援に努めます。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中	全 国	10.3	23.4	32.1	18.0	9.9	6.0
3	五箇中	0.0	31.3	62.5	6.3	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- ほとんどの生徒が1時間以上学習しており、家庭での学習習慣が身に付いていると考えられます。今後も、生活ノートを活用して、生徒の学習状況を把握するとともに、適切な支援・助言ができるようにしていきます。
- 学習時間が1時間未満という生徒がいるうえ、3時間以上学習している生徒が少ないことから、宿題や家庭学習以外の学習をしている生徒が少ないと考えられます。今後は、家庭での時間の使い方を工夫させるとともに、自分の興味・関心を生かした自主的な学習ができるよう支援していきます。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
中 3	全 国	5.4	8.4	14.6	21.0	13.2	36.8
	五箇中	0.0	6.3	25.0	43.8	12.5	12.5

(単位 %)

【考 察】

- 朝の読書活動を中心に、日頃から本を手にする習慣が身に付いており、4月から7月までの学校図書館の平均貸出冊数は1人あたり17.2冊となっています。
- 学校司書を有効に活用し、学習内容に合った本の推薦や生徒の興味・関心をひく図書の紹介などを行い、図書室を中心とした読書活動の推進に努めます。また、奉仕部活動で図書を紹介するポップを作成するなど、生徒自身が主体となって読書を推進する活動を考えて取り組んでいきます。

4 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
中 3	全 国	23.1	46.1	24.4	5.7
	五箇中	37.5	43.8	12.5	6.3

(単位 %)

【考 察】

- 約8割の生徒が、学習した内容をよく振り返り、次の学習につなげることができています。各教科で振り返りシート等を活用し、授業での学びを振り返らせることを意識してきた成果だと考えられます。
- 「当てはまらない」と回答した生徒がいることから、授業で分からなかったところを、質問したり調べたりせずそのままにしているのではないかと考えられます。振り返りシートの内容を分析し、一人ひとりの学びを把握することで、次時の授業で復習を行ったり、解説をしたりすることに繋げていきます。また、朝の学習の時間を活用し、分からない問題を自由に質問する時間を設けるなどして、生徒が質問しやすい雰囲気づくりに努めていきます。